

た ど っ ち ょ う 多度津町

環境のまち

せせらぎとやすらぎ

みんなできいき暮らしのまち



多度津町は、香川県の中部に位置し、南は讃岐平野、北は風光明媚な瀬戸内海国立公園に接している。古くから天然の良港に恵まれ、港を中心に発達してきた。明治に入り、四国最初の鉄道が開通したことで、鉄道と港の利点を生かした西讃交通の要衝として発展してきた。臨海土地造成事業を行い近代工業都市へと変貌し、また『環境のまち宣言』を行い『多度津町再生水利用計画事業』に取り組んでいる。

【問い合わせ先】
多度津町役場 TEL0877-33-1110



2500本のソメイヨシノが咲き誇る桃陵公園。
4月には「たどつさくらまつり」が開催されます。



白方ぶどう

西日本有数の種なしぶどう

多度津町のぶどうの歴史は比較的古く、種なしぶどうの産地、奥白方地区にぶどうの苗木が栽培されたのは大正七年のこと。温暖な気候と水はけのよい傾斜地という好条件からいまでは「白方ぶどう」のブランド名で西日本有数の種なしぶどうの産地となった。白方地区には観光ぶどう園もあり、秋の収穫期にはぶどう狩りの家族でにぎわいをみせる。また、特有の風味を生かした多度津産「さめぎワイン」も好評。



さくらちゃん

DATA

総人口 23,610人
世帯数 9,767世帯
面積 24.34km²
人口密度 970人/km²

